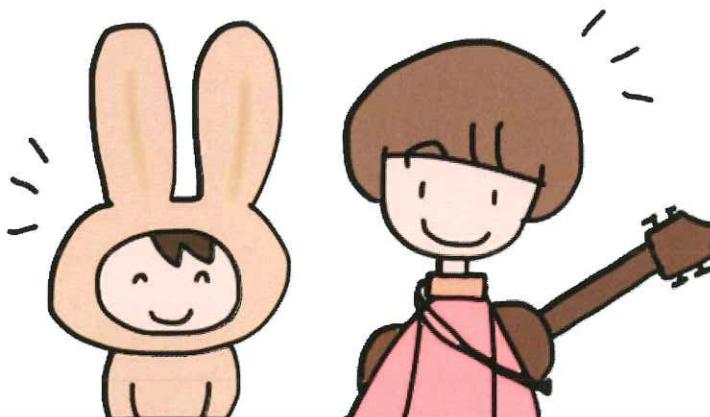


おかげさまで 創立 50周年！！



Vol.57

●特集●

水戸子どもの劇場 50周年特集・1~3

「50年の歩み」「歴代代表のことば」
「アンケート&メッセージ」

シリーズ 内向タイプという生き方 4

「非常勤講師という働き方」
県立高校教諭 森 俊博

ココロノアリカ vol.29 5

「選択の洗濯」
水戸南高等学校 定時制同窓会会长 宮田 哲郎

心に消しゴムを 6

茨城大学大学院 金丸 隆太

よしこの世界一周大冒険からのつづき 7

「何度も何歳からでも挑戦はできる」 杉野 美子

絵本の紹介 8

「まほうのことばをいってごらん」ほか
やまのことり

水戸子どもの劇場より 9

毎月の活動紹介
参加者募集

その他のお知らせ 10~11

事務所MAP 訪問型病児保育のご案内
寄附のお願い 広告

発行：認定NPO法人 水戸子どもの劇場

〒310-0912 茨城県水戸市見川2-82-11

TEL/FAX 029-255-0908

E-mail gekijo310@citrus.ocn.ne.jp

URL <http://mito-kodomo.securesite.jp>

LINE・メルマガも発行しています。



水戸子どもの劇場50周年の歩み

年度	年	主な組織の動きなど	鑑賞・創造内容など
準備期間	1967	劇団ブークの方が水戸で説明会を開き、教職員組合の先生等が参加	昔話“桃太郎”ほか
	1970	「ブレーメンの音楽隊」などの鑑賞	ブレーメンの音楽隊、ほか
1	1971	1971年創立総会開催	ピーターと狼、ほか
2	1972	ピクニック、たこあげ大会等の開催	くるみ割り人形、ほか
3	1973～74	こどもまつり始まる、水戸市たこあげ大会参加	森は生きている、ほか
4	1975	キャンプ始まる	みんなでうたおう、ほか
5	1976	キャンプ、こどもまつり開催	青い鳥、ほか
6	1977	自主活動、バザー始まる	うりんこ姫とアマンジャク、ほか
7	1978	こども料理教室、映画会など開催	芹洋子ファミリーコンサート、ほか
8	1979	親子キャンプ、こどもキャンプ始まる	おばけちゃん、ほか
9	1980	中高生合宿始まる	ビックとバイキング、ほか
10	1981	TAC（ティーンエイジカンパニー）中高生の集まり始まる	こども寄席、ほか
11	1982	講演会「板谷紀之氏」	猫は生きている、ほか
12	1983	機関紙発行、財政部出来る	ザ・マジック、ほか
13	1984	フェスティバル開催	火の鳥、ほか
14	1985	高学年例会始まる。他劇場との交流始まる	銀河鉄道の夜、ほか
15	1986	会員数1001人を達成!	ちびくろさんぽ、ほか
16	1987	水戸から勝田地区分割独立→現「ゆめひろば」、県内8劇場	走れメロス、ほか
17	1988	茨城県子ども劇場協議会の代表になる	ごんぎつね、ほか
18	1989	運営委員会の負担が問題になる	コンドルはとんでいく、ほか
19	1990	運営委員会後ブロック集会、委員会を開く	狂言”日本の笑い”ほか
20	1991	20周年記念事業を通して行政へ働きかけた	悟空誕生、ほか
21	1992	機関紙発行定着、社会的役割の見通しを話し合う	べつかんこおに、ほか
22	1993	例会部、高学年部が出来る	ちょっと不思議な冒険、ほか
23	1994	会員拡大600名から896名に	常田富士男&京フィル、ほか
24	1995	子育てトーク始まる	西遊記、ほか
25	1996	25周年記念事業、中学生新歓合宿	シンデレラ、ほか
26	1997	「カテリーナ古楽合奏団」芸術館との合同企画実現	フルーエン、ほか
27	1998	子ども総会開催、遊びの会	エルマーと16匹の竜、ほか
28	1999	NPO法人として出発、FMぱるるん始まる、HP開設	風のまつり、ほか
29	2000	CAP（子どもの暴力防止プログラム）勉強会、メールマガジン発信	ジャズでリトミック、ほか
30	2001	CAPいばらき立ち上がる、30周年記念事業	ヘルシー松田パントマイム、ほか
31	2002	ちびっこ広場参加、読書フェスティバル参加	ミュジカル「ミレット」、ほか
32	2003	県いきいき子育て講座協力、くじらランド協力	わくわくさん、テツandトモお笑いライブ
33	2004	子育てサポートー養成講座、遊びの達人養成講座	ハムレット、人力舎爆笑ライブ
34	2005	ぽかぽかつどいの広場開設、思春期講座	ロバの音楽座、西遊記、ほか
35	2006	歴史館まつり参加、食育講座、地引網	エルマーと16匹のりゅう、ほか
36	2007	みとぴよ音楽隊結成、おもちゃサロン、じやがいもほり&芋煮会	横山茂コンサート、カブラ、ほか
37	2008	親の学び勉強会、大好きいばらきふれあいまつり	ガランピーポロン音楽会、ほか
38	2009	コミュニティカフェ、BodyScienceいばらき	マクベス、かえっこバザール、ほか
39	2010	あにまるクラブ、親子体操、ハローイングリッシュ	春風亭昇太独演会、ほか
40	2011	放課後子ども教室、放射線の話講座、40周年バーベキュー	群読ワークショップ、ほか
41	2012	創造体験3日間、親子ヨガ、支援者養成講座アフターバーベン	ののはな人形劇、ほか
42	2013	夏まつりだよ全員集合、放課後スタッフ研修	びりとりブッチャー、ほか
43	2014	附属小学校「放課後学級」開始、歴史館忍者あそび	クリスマス会、ほか
44	2015	赤ちゃんが学校にやってくる、子育て支援団体カタログ「こねっと」発行	竹でもつきんきん、ほか
45	2016	水戸市訪問型病児保育事業	チキンパイ！おおきくな～れ、ほか
46	2017	ボランティアまつり、プログラミング	クリスマス会
47	2018	講演会「子どもの権利条約からみる子育て支援」	オペラシアター「森は生きている」
48	2019	わいわいフェスティバル	人形劇ともだちげきじょう
49	2020	「きんぎょがにげた」講座、支援者研修	ピアニカの魔術師公演
50	2021	予約制により活動を実施することが増えた	栗コーダーカルテット公演

水戸子どもの劇場 歴代代表メッセージ



桜井 みどり（1993～1998）

水戸子どもの劇場と初めて出会ったのは、35年程前、長男が幼稚園に入った年の夏、家の前を通り過ぎる子どもも神輿を追って行った近くの公園でした。たくさんの親子が夏祭りを楽しんでいました。地域ブロックでの文庫活動、春秋の芋苗うえ芋ほり、クリスマス会、水戸子どもの劇場全体で行う鑑賞例会、親子キャンプ、子どもキャンプ、中学生新入生歓迎会等々、親子共々たくさんの人と出会い、繋がり、活動し、まさに「親も子も育ち合う場」でした。

創立50周年。いま、様々な年代の人が水戸子どもの劇場に集い、楽しみながら、悩みながら、話し合いながら、子育て、子育て支援、子ども支援を行っています。支援者自身も育てられているのを感じながら。

羽根坂 恵美子（1999～2002）

なんと！水戸子どもの劇場が50周年とは！本当にうれしいです♪ おめでとうございます!!

みなさんの汗と(；▽；)涙の(いやあ)ww笑いの！結晶！！！だと思います。そして、あ、り、が、と、う、ございます(^_^)。すごくうれしいです♪

実は、私は25年前、記念誌を作成させてもらいました。皆さんの力を借りて作りました。それから25年も！たっちゃんたんですね。この長き道のりを続けてこられたのは、みんなの、水戸子どもの劇場の底力です。皆様に脱帽、感謝です。NPOに変わったあの時、その後できたチーム、それに付随して集まられたみなさん、どこを見ても、本当に素敵な人の集まりだと改めて思います。実は、私たちも、「NPOは人！だよね」って集まった人たちでした。そのことに、驚いてしまった人や、会を外に開いたら、劇場じゃなくなるって怒ってた人もいたけど、話し合う中で「水戸子どもの劇場」は、NPO法ができる前からNPOだったんだって気付いてやってきました。今までも、大変な中笑いながらやってきたでしょうが、これからも、人を頼りながら(汗)と(涙)とww(笑)でやってください。私は何もできない人ですが、これからも頑張ります!!そして、みなさまに心を込めて 多謝！！

森田 多美子（2002～2017）

水戸子どもの劇場との出会いは、1990年に水戸に引っ越しをしてからです。それ以前は水海道子ども劇場（現在常総市）が発足の時にお友達に誘われて子どもと一緒に入会をしていて事務局をお手伝いしていた関係から、水戸に引っ越しをする事が決まってから事務局に誘われていました。

4月に引っ越しをしてから10月の総会には事務局として紹介をされていました。水戸の事を知らない事務局長として約12年。やっと新しい最適任の事務局長と交代となった時に代表になる人がいないという事になり、そのまま代表を引き受けました。

何かができるからとか何でも分かっているとかの代表はできないと考え、みんなの力を借り、意見を沢山出してもらいました。ピラミッドの組織を変えたいと思っていたので、皆で考え、皆で知恵を絞りあって組織を変えていった気がします。それは今も続いていると思います。そして、変化し続けています。そこから代表を約15年、又、最適任者の代表と交代をしました。

会の大きな転換はやはり、1999年の任意団体（会員のみの活動）から、NPO法人設立です。何ヵ月もかけて自分達の会の事を話し合いました。それまでの会員のみの活動から地域に広げていく事に心配や不満の声も上がりました。なんの確証もなく、「会員が減ったらどうする？」との意見にも自分たちの目指す所を確認し合っていました。

それから22年、子どもの事を中心に、事業も人も広がっていきました。私個人としては、色々な価値観に出会い、（それは大人に限らず子ども達からも）新しい発見があり、楽しかったり、頭を抱えたりしながら成長できたと思っています。今もまだまだ修行中ですが・・・・

平野 弥生（2017～現在）

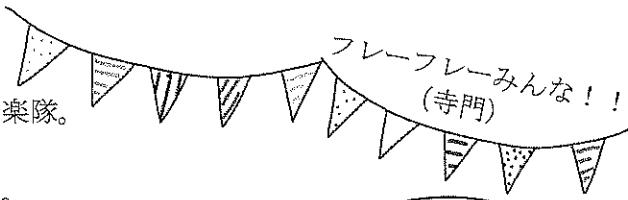
12年前、長男次男(双子)が7歳、三男が1歳の頃に水戸に引っ越ししてきました。子どもを連れて遊べる場所を探して、入会しました。その後2回の出産をしながら、理事にとお声掛けいただき、子どもを連れて、会議や事業、時には研修等に携わらせていただきました。

水戸子どもの劇場では、理事会中に授乳したり子どもが騒いだりしても、特別なこととは思わず、日常として受け入れてくれ、私の意見に耳を傾け当事者の声を聞いてくれました。出席したい研修や会議の際は、子どもたちを見ていてくれたり時には幼稚園のお迎えに行ってくれたりと、全面的に、私のことを応援し、私たち親子の成長をただただ見守ってくださいました。

長男次男の子育ては戸惑いながら楽しむ余裕もなかなかありませんでしたが、知らない地で楽しく子育てできているのは、様々な年代と価値観をお互いに認め合う水戸子どもの劇場の皆様のおかげだと思っています。わたしも、そんな人になりたいと思って、代表理事のバトンを森田さんから受け取り、あつという間に4年がたちます。まだまだ目標にはほど遠いですが、皆様の力を借りながら楽しく笑いあいながら活動していきたいと思っています。

水戸こどもの劇場を知ったきっかけは？

ママ友に誘われて。子育てが苦手だったから。みとぴよ音楽隊。
水戸市HP. はやま庵。引っ越してきて遊び場を探して。
ぽかぽかつどいの広場で知った。託児付の講座に参加した。
以前、他でこども劇場に参加していたので水戸でも入ることにした。



水戸こどもの劇場を一言で表すと

第二の実家。初心に戻れる場所。心の充電をするところ。
関わり。居場所。サードプレイス。子育てに役立つ場所。
あつたかくて飲む点滴と言われる甘酒のよう…。
ほっとする。寄り添ってくれる場所。子ども+大人のたまり場。



●50周年記念●
アンケート
&メッセージ

今まで心に残っている出来事、エピソードなど

海外から招へいした人形劇を子供会に向けて企画して失敗したこと。それを当時の運営委員会メンバーが支えてくれたこと。赤ちゃん学校、みとぴよコンサート、こまのおっちゃん、ガレッジセール、キャンティのおばさまがごはんを作ってくれた総会、アフタフ・バーベン、忍者、ぴよぴよサロン、絵本の講座、アロマの講座、栗コーダーカルテット、夏のこどもキャンプで生きたにわとりをさばいたこと、NP020周年記念イベント利用してくれた方から「来て良かった」という一言をいただいた時。

コロナ禍なので利用者のお子さんと距離をとった方がいいのか悩んでいたが、向こうから来てくれた時、ある程度の触れ合いは心を通わせるのに大切だと思った。

～メッセージ～

*50周年おめでとうございます。劇場を卒業してからも地域で活躍する多くの人たちを育ててきた場だと思います。子育ては地域社会と向き合わざるを得ない営みで、親も育つ時間です。その多くの時間を水戸こどもの劇場に支えられ、育てていただきました。これからも地域の子育てを支え、人のつながりを編み、未来を育てる活動を続けていかれますように。(横須賀聰子)

*お世話になります。社会にとってますます必要とされる存在だと思いますので、これからも末永くよろしくお願ひいたします。(沙知子)

*素朴で落ち着いた雰囲気で気軽な気持ちで参加できるので色々な活動に参加させていただいています。たくさんのママや赤ちゃんに出会うことができ、親子共々とても良い経験をさせてもらっています。オンラインも活用しながらの運営は大変なことも多いと思いますが、今後ともよろしくお願ひいたします。(岡部)

*地域に愛される、いこいの場となることをこれからも願っています。(無記名)

*関わり方は時と共に変わりましたが、これからも居場所であってください。(山キング)

*子ども3人連れて水戸に引っ越してきて本当に大変だった時に温かく迎えてもらって感謝しています。ぽかぽか広場では、常にスタッフの方がいてくださって、気軽に相談できる雰囲気が最高です。(Y.M)

*コロナ禍でいろいろ大変だと思いますが、劇場さんがされているような活動が、子育て中の私たちには、とても役に立ち救われます。これからも応援しています。(H.Y)

*これからも大人が息抜きできる場所、子どもと大人が楽しめる場所として活躍してください。(植木由紀子)

*50年！そんなに長く活動されてるなんてすごい！これからも子のため親のため、がんばってください。

*劇場さんには息子が1歳の時からお世話になり、その息子も15歳なりました。一緒に子育てを楽しませていただきました。ありがとうございます。これからも私の癒しの場であってほしいです。(みちこ)

*娘2人の育児中、こどもの劇場さんが私の大きな支えでした！2人とも高校生になりました。(かりん)

*私たち親子をいつも育ててくれてありがとうございます。これからも親子でキラキラと輝ける場所で、あったかい場所であってください。(HIROKO)

*実は1984年ごろ子どもキャンプに参加してたことが判明。小学生なのでわかつてなかったですが。水戸と離れたりしてたけど、今はみとぴよ、遠足くらぶで活動させてもらっています。

ずっと続いて存在してたのがスゴイ！器として感謝。(大森恵子)

*みんなが生まれる前からやってるなんて・・・私は成人してました・・・

*ここでたくさんの人出会い、たくさんの人々に支えられました。感謝！！

*いつもありがとうございます。ここらのよりどころです。

これからもいろんな人の居場所になりますように・・・(N)



シリーズ「内向タイプという生き方」

非常勤講師という働き方

県立高校非常勤講師 森俊博

今年度から肩書が教諭から非常勤講師に変わった。定年退職後、再任用として5年間働かせてもらったが、その再任用期間の職種は「教諭」だった。フルタイムから週3日など、自己都合で働く日数が選べたが、職場では授業の他に校務分掌として事務的な仕事もやらねばならず、清掃監督や服装指導などにも立ち合い、担任不在の時はSHRで生徒たちに連絡事項を伝えるなどということもやらねばならなかつた。そして、勤務時間まで一日職場に張り付いていなければならなかつたが、今度の非常勤講師は授業だけやればいいので、授業が始まる前に来て終わったら帰つていいという働き方になる。もちろん、授業の準備や必要に応じて学習プリントなども作らねばならないからそれ以上時間は取られるが、一時間単位で給料が計算される「時給」という働き方になる。この新しい初めての働き方で感じたことを今回は書いてみたいと思う。

二時間目から授業が始まるので、それまでに間に合うように家を出る。つまり、通勤ラッシュが避けられるのだ。通勤手当(ガソリン代)はハイブリッド車並みの燃費で計算されるから、朝の渋滞による燃費の悪化は考慮されない。だから、今回は渋滞が避けられるため、燃費もよくなりストレスもなく、朝晩の気温の変化を考慮しての服装選びも迷わなくて済む。つまり、普通の先生方には申し訳ないぐらいゆっくり朝食を取り、さわやかな風を感じながらの通勤となる。重役出勤である。

また、帰りも他の先生方が忙しく働いている中、授業が終われば「お先に失礼します」と職員室を後にすることができる。更に、午前中で授業が終わってしまう日など、帰途に適当な店に入れてランチを楽しむこともできる。今頃、他の先生方は雑務に囲まれながら、その隙間に自分の机の上の書類をかき分けて作ったスペースで弁当を急いで搔き込んでいるのだろうと思うと、これまた申し訳ない気分になる。

勿論、こんないいことばかりではない。学校行事で授業がなくなると、その分給料が減る。今年は夏休みの後も新型コロナの影響で生徒たちは登校できなくなつたため、授業がなくなり二ヶ月ほど無給になってしまった。こんなに長く仕事もせずに過ごせたのは初めてのことだ、コロナ禍でもなければ世界一周でもできたかもしれない。もちろん資金があっての話だが。だから、暇で仕方がなかつた。

自分では自分を仕事人間とは思っていないが、40年以上働いてきた習慣のせいいか、結構時間を持て余し、今

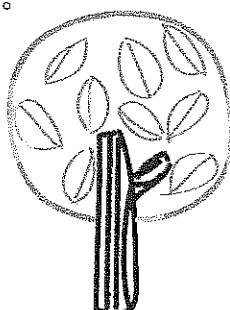
後本格的にリタイアしたらどうなるのかと心配になつたほどだ。コロナの影響で図書館にも行けないし、自宅での読書や調べ物はなんだか気が乗らない。職場で忙しくしている中、その隙間を見つけて自分の勉強をする方が効率が良い。これは、やはり緊張感のない学習環境のせいだろう。ついつい、だらだらとテレビを見続けたり、昼寝をしたりしてしまう。特に今年はオリンピックがあったので、歯止めがきかなかつた。

このような生活をしながら、これはフリーターとか非正規で働いている人たちの働き方に似ているのかもしれないと思い当たつた。なぜフリーターを志向するのか、なぜ非正規に甘んじているのか。社会構造の問題でもあるのだろうが、結構彼ら自身がそのような働き方を望んでいるからなのではないかとも思える。前述したあまり責任のない気楽な仕事や、比較的自由な時間を得られることは、たとえ給料が少なくとも、老後の心配があつても、そういうものには代えられない価値あることなのではないだろうか。

従来の、終身雇用や年齢と共に上昇する給料体系などは今後変わってゆくだろう。転職や実力主義などは当たり前、自分のライフスタイルに合わせて働き方を選べる時代が来るのかもしれない。今回のコロナでは、リモートで結構仕事になった人も多く、田舎で子育てしながら暮らせるこことを知った人もいたのではないか。

漱石の『野分』の白井道也(どうや)は、金のために働くのが嫌で、自分のやりたい仕事しかないと高潔ぶつ正在から苦しい生活を強いられる。妻からは、家庭を顧みるように苦言を呈されるがお構いなしである。小生のような才能もない小市民は、まずは食べること、生活できることを最優先してしまうから、小説の上とはいえ、このような強い生き方にあこがれを抱く。

同じ漱石の『それから』の主人公代助も、食うための仕事などしたら自分が汚れるという。だから、父親の脛をかじって高等遊民というパラサイト生活をしていたが、とうとう愛する伴侶と生活をすることを選んだ代助は、父親からの援助を絶たれ、自分だけではなく病気の妻をも食べさせなければならなくなり、とうとう就活をしなければならなくなつた。現実のためには理想ばかり追いかけはいらなくなつたのである。こうして、多くの人は理想と現実との間で折り合いをつけて生きている。



日々私達は、選択をしています。無数の可能性の中から、毎日毎日その場その場で何らかの結論を選び取り、今この場に生きています。極端な話をすれば一人の人間にとて、常に360度全ての方向に選択肢があると言えます。自分の人生は、自分の人生です。常に自分の選択によって、自分の人生が進む方向が定められているのです。

でも、私達は無意識のうちに『選択の洗濯』をしています。あらゆる可能性があると言っても、自分の今置かれている立場や状況、現実的か非現実的かによって、選択肢ごとにリスクが異なるからです。全部の可能性を一度自分の中の洗濯機にかけて、キレイにしても残ったもの。洗練された選択肢の中から、一つ取り出して、それを選んでいます。選択肢が多すぎると人間は選ぶことが難しくなります。だから、一旦ふるいにかけて、選びやすいように選択肢を整えているのです。

例えば「明日の朝、目が覚めた時に自分は何をするか」というテーマについて選択をする場合に、今サラリーマンとして仕事をしている人が、突然明日からプロスポーツ選手を目指すためにトレーニングを始めよう！と決意するのは、普通に考えれば非現実的なことです。明日も仕事があるのだとすれば、大多数の人は何気ないいつもの朝のルーティンを済ませて、会社へ出勤することを選ぶだらうと思います。それは立場や状況を考えた上で選択の洗濯をして、リスクの少ない現実的な選択肢を選んだということになります。

とはいって、当然の結論だったとしても、それは自分が選択肢の中から選んでいることに変わりは無いのです。別にプロスポーツ選手を目指し始めてトレーニングを始めたとしても、それも選択の一つです。どんなに非現実的だらうと、無意識に選択の洗濯をしてもその選択肢が自分の中に残った上で選んだというだけで、それを選んだことには何の罪も罰もありません。

ただここで一つだけ言うなれば、選択にはリスクが伴います。あくまで自分自身の定義で決める事ではありますが、そこには間違った選択肢や正しくない選択肢も存在しているからです。後から考えた時に「ああ、あの時のこの選択は間違っていたなあ」と後悔する事は少なくないでしょう。会社や仕事をほっぽり出してプロスポーツ選手を目指すことを選んだとすればそこには、ほっぽり出した仕事に対する

責任をどうとるのか、会社員としての立場はどうするのか、収入源は他にあるのか、といったリスクが伴うわけです。だからほとんどの人々は、リスクが少ない選択を「より正しい選択肢だ」と考えて、選択の洗濯をした結果なるべく無難で安全な選択をしていくのです。それが最善だと思うから。

でもここで忘れてはいけないことがあります。それは、リスクの少ない選択肢が必ずしも「正しい選択」にはなり得ないということです。確かにそれは無難な選択かもしれません。間違う事は少ないと思います。ただ何かを成し遂げようとか、何かを手にしよう、何かを守ろうと思った時に、リスクの少ない選択肢は果たして自分自身にとって正しい選択なのでしょうか？ 時にはリスクの高い選択肢を選ばなければ達成できないこともあるはずです。仮にその選択が間違っていたとしても、正しくなかったとしても、自分の信念や大切なもののために、リスクの高い選択をすることを誰が咎めたり罰することが出来るでしょうか。だって人生は他の誰でもない、自分自身のモノなのですから。

そう考えた時に、私は自分自身の『選択の洗濯』のセンスを高めておくことがいかに重要であるかということを強く意識します。常日頃からリスクの少ない選択肢ばかりが残るようにフィルターをかけてしまうと、それ以上の可能性は絶対に生まれてこないからです。ここぞという時に、リスクが高くて自分にとって大切な選択肢を目の前に残せるかどうか。その感性を磨いておくことの重要性は自分が思っているよりもはるかに高いと感じています。だってそこに自分の人生における『色彩』がハッキリと表れてくると思うからです。それは時に夢であったり目標であったりするかもしれません。人生の生きがいがそこに隠されているかもしれません。生きとし生ける全てのものはいつかその生涯に幕を下ろします。たった一度きりの自分の人生を、最終的に後悔ばかりで終えたくはありません。やり切ったと思えるぐらいまで自分自身と向き合って、その時を迎える。だから、私は今でも360度全てが道だと思うし、そこから選択の洗濯をする過程が大事だと思うのです。

まあ、小難しい事書いちやいましたが、結局何が言いたいかというと、きっと人生ってそうやって試行錯誤してはじめて『思い出』になっていくんだと私は感じています。



今日も選択の洗濯が行われています。お風呂に入る前に洗濯機を回そうか、お風呂に入つてから洗濯機を回そうか。洗濯物の量と時間との微妙な闘いです(笑)

心に消しゴムを

茨城大学大学院 金丸隆太

写真を「盛る」という言葉はいつ頃から使われるようになったのでしょうか。こういう疑問を調べる時に便利なのがGoogleの期間指定検索です。パソコン用のネットブラウザでGoogleのツールを使うと、期間を細かく指定して検索できます。つまり、ある言葉がある時期にネット上にどれくらい存在していたかを調べることができます。

2009年までは、「写真 盛る」で検索すると料理の盛り付けに関するページばかり出でてきます。2010年から写真を盛るという言葉が登場しますが、その頃はプリクラの機能について使われていました。2011年からスマホのカメラアプリで写真を盛る方法がネット上に掲載され始め、以降世間に浸透したようです。

なぜそんな疑問を抱いたのかと言いますと、先日驚くべきCMを見たからです。それはGoogleが販売しているPixel 6および6 proというスマホのCMで、このスマホにインストールされている写真アプリには、「消しゴムマジック」という機能が搭載されたと言うのです。例えば友達とのツーショットを撮ったときに、後に入人が写り込んでしまうということがよくありますが、その人を指でタップするだけで消せるのです。消しゴムで消したように空白になるのではなく、そこにふさわしい背景が自動的に描かれます。

人以外にも、看板、電線、車など、何でも消すことができます。素晴らしい機能ですが、2つの心配があります。今まで写真を盛ると言えば、見栄えを良くするために細くしたり自くしたり、大きくしたり小さくしたりと、形や色を変えることが主体でした。これからはここに「消す」という選択肢が加わります。あつたはずの物がなかつたことになる、という写真加工機能は、悪意を持って使えば人をだましたり苦しめたりすることにも使えます。新しい道具が開発されたときに、その使い方と倫理が問題になることはよくありますし、それは道具の問題ではなく人の問題です。そして人は良いことだけするわけではありません。特に子ども達がこの機能をどう使うか、注目せざるを得ません。

そもそもう1つの心配は、これからAIを駆使したこのような技術が安価で使えるようになっていくことの影響です。写真加工において、特定の被写体を消すことはずいぶん昔からなされてきました。パソコン用の写真加工アプリで最も有名なAdobe社のPhotoshopは、バージョンアップの度にこの機能を洗練させてきました。最新バージョンの「コンテンツに応じた塗りつぶし」という機能は、まさしく消しゴムマジックです。いえ、Googleがこの機能を自社の写真アプリに取り入れたという方が正確です。この機能は実に便利で、様々な場面でニーズがあるため、GIMPという写真加工アプリにも搭載されています。「スマート消去」という名前の機能です。これはプラグインとして配布されていて、どんな環境でも使えるわけではなく、また

Photoshopのように綺麗に消すにはコツもいるのですが、そう難しくはありません。

さて今日のこの話。途中から訳がわからないという方も多いことでしょう。Photoshop、GIMP、プラグイン。あまり聞かない言葉です。GIMPに至っては読み方も分からぬ方もいるでしょう。それが普通です。写真加工を仕事で使っているか、趣味でハイレベルな写真いじりをしていないと出会わない言葉です。Photoshopはサブスクリプションになっていて、使用するには毎年3万円ほどを払い続けなければいけない高価なアプリです。GIMPは無料ですが、使いこなすには技術が必要です。そういうた、一部の人がコストやスキルをつぎ込んで使ってきた写真加工技術が、どんどんスマホのアプリに組み込まれ、無料で誰でも簡単に使えるようになってきています。皆さんも、GIMPとプラグインをダウンロードし、解説サイトを読みながらパソコンで写真加工しようとはなかなか思わないでしょうが、スマホで撮った写真をちょっとタップするだけで不要な被写体を消せるなら、どんどん使うことでしょう。

スマホの普及で世の中がどんどん便利になっていく影で、これまで莫大なコストをかけて蓄積してきた技術や仕事が、どんどんなくなっています。プリクラもほとんど見なくなりました。Photoshopはしばらく残るでしょうが、いつかGoogle社に買収されるかもしれません。近い将来、スマホで写真を撮った後、ボタンをタップして

「右の電柱を消して、全体を明るくして。」と話しかければ、一瞬で思い通りの写真になる、という時代も来るでしょう。便利なのは良いことです。私もGoogleの期間指定検索を重宝しています。古い技術が廃れていくのは世の常で、そうやって文明は進化してきました。50年後には町からガソリンスタンドはなくなり、子ども達は「昔は車から大きい音と臭いガスが出てたんでしょ?」と、平成生まれの高齢者に聞いていることでしょう。「昔は車を人が運転していて、交通事故でたくさん的人が死んでいたんでしょ?」と、子ども達が信じられ無さそうに問う日が来るならば、嬉しいことです。1リットル1万円ぐらいのガソリンを特殊な店で購入し、人里離れた私有地でこっそりと、ハンドルを握って旧車を運転するのは、一部のマニアックな富裕層の、背徳的な趣味になっていることでしょう。世の中が便利で、エコで、クリーンで、安全な方向に進化していくのは幸せなことです。願わくば、その影で職を失う人が増えませんように。新しい技術を使いこなせず孤独を感じる人が増えませんように。新しい文化に全ての人がついて行けるように、支援が行き届いている世の中ありますように。2021年現在、われわれの周りに山ほどある様々な格差を無くす消しゴムを可能にするのは、AIによる技術では無く、世の中をどうしたいかという私達の心の持ち方でしょう。この原稿はMicrosoftのWordで書いていますが、自動で校正が入り、数々に青い下線が引かれています。校正を生業にしていた人の青息吐息が聴こえます。

よしこの世界一周大冒険 「何度でも何歳からでも挑戦はできる」 by 杉野美子

先日、「I am a woman MY independence story」と言うオンラインイベントに登壇させていただいた。女性の生き方を語るイベントだ。私が40歳で離婚をしてから60歳で起業し、オンラインスクール「大人の世界一周アカデミー」も13期生を迎える毎日楽しく暮らしている姿を見てその秘訣を話してくれと言うオファーがあった。波瀾万丈の半生、ネタ満載苦労しておいて良かったと思った。そこで私は私の4つの独立記念日という内容で話をした。オンラインなのでズームの画面に向かって話す。画面の向こうが5人でも10人でも100人でも1000人でも同じ。とても楽しく話をすることができた。プロのヘヤーメイクも頼んだので魅せ方もばっちり。

タイトルは「何歳からでも何度でも挑戦できる—私の4つの独立記念日」

1. 40歳で離婚 専業主婦からの独立

水戸ごどもの劇場の仲間に助けられたどん底時代だ。2世帯住宅を建て住んだ地域になじめずまた舅姑とのあまりの価値観の違いに戸惑い夫に相談するも「おまえがおかしい」「普通の母親はそんなことはしない」「普通の主婦はそんなことはしない」全否定される日々に自分は生きる価値がない人間だと思え毎日死ぬことだけを考えていた。今思えば鬱だ。死のうと家をでたが死にきれなかった。そこから仲間に支えられ助けられなんとか生きてきた。何のスキルもない40歳に仕事はない。25社落ちたすえにやっと雇ってもらった会社も3か月でクビ。次の会社では経理事務をしながら「姉ちゃん」と呼ばれた。名前で呼んでもらえませんかと言うと生意気だといじめられた。生活のためには自分から辞めるわけにはいかない。昼夜働いて過労で3回倒れた。このまま終わりたくないと図書館に通いビジネス書を読んだ。読書会を立ち上げて朝活をした。また女性起業家から話を聞く勉強会も立ち上げた。お手伝いを行っていた小学校の先生に勧められ小学校の先生の資格を取る通信教育を始めた。朝4時から7時までが勉強時間。その後千波湖まわりを歩いてから出勤。7日間で10種類のアルバイトをかけ持ちして朝から晩まで必死に働いた。

2. 50歳で先生に

アルバイト掛け持ち生活からの独立

息子の大学進学を見届けて故郷の福岡に帰った。地元の同級生に聞くも50過ぎて仕事なんてない。小学校の講師なら求人あるよとのこと。通信教育を続け地元に帰って教育実習に行きなんとか単位をそろえ教員免許をもらうことができた。北九州教育



委員会に講師登録して連絡を待った。オファーがあったのは郊外の小さな小学校。担任をしてくれという。「やります」とはいったものの。6年間先生を続けた。充実の日々だった。採用試験に3回目落ちたときにやめる決心をした。そして夢の世界一周へ。

3. 58歳 世界一周旅行へ日本の常識からの独立

世界を回ってみて何が驚いたってその多様性だ。すぐレッテルを貼った張りたがる癖のある私にとっては衝撃だった。自分の考えているレッテルが貼れない。想像もできない初めて触れる価値観だらけ。どうして?どうして?どうして?どうして?どうしてではないそれがその国の常識なんだ。へーそうなんだー。あれこれもあり。そして自分のブレインロックがどんどん外れていった。みんな違ってみんな良いと心から思い、自分のことも許し愛することができるようになっていった。

4. 60歳で起業

3つの独立を経て新しいライフスタイルへ

2回目の世界一周は1年間。帰国して電子書籍をだし旅のお話し会をした。好評であちこちから声がかかるようになった。東京や大阪、札幌も。水戸では国際交流センターで昼夜講演会をした。が、コロナでリアルの講演会が全てキャンセルになり収入0に。2020年5月末にZoomで還暦誕生会をした。世界中から55名参加。ハッピーバースディの大合唱のプレゼントは忘れない。水戸の友達から60本のバラの花束も届いた。感涙。オンラインスクールを立ち上げた。1か月の予算60万円☆Bag1つ☆ビジネスクラスに0円で乗って世界一周へ行く方法を教える3か月のプログラムを作った。高額の起業塾やライブのやり方セミナーなどにお金を払い投資してスキルアップして売り上げに結びつけ回収した。何度も心折れながら1年続けたころから生徒数が増えてきた。サミットやイベントの声がかかるようになった。今最高に幸せな日々を過ごしている。死ななくて良かった。あきらめなくて良かった。支えてくれた仲間に感謝♡

※Facebookにこのイベントのアーカイブ(録画)が残っています。30分のトークをぜひ聞いてください。

よしこの世界一周大冒険メルマガはこちらから
445life.com

3つの無料動画セミナープレゼント付き。
毎朝5時に届くメルマガを読んであなたも世界一周している気分に♪

何度でも何歳からでも挑戦はできる
大人の世界一周アカデミー校長
杉野 美子
世界のよしこ

私の4つの独立記念日

1. 40歳で離婚 専業主婦からの独立
2. 50歳で先生にアルバイト掛け持ちからの独立
3. 58歳で世界一周旅行 日本の常識からの独立
4. 60歳で起業 新しいライフスタイルへ

●絵本の紹介●

【いってごらんシリーズ1】 どんな心もゆるっと優しくなれる愛の絵本

『まほうのことばをいってごらん』 文・絵 やまの ことり

ご機嫌に生きること…

人生において、きっとこれほど幸せな生き方はないのでは
ないでしょうか。

黒猫だいきちせんせいの診療所を舞台に、様々なココロと
向き合う登場人物たちが“まほうのことば”によって
繰り広げていく世界は、ココロを愛で満たしきっと笑顔に
なれる…どんな状況でもご機嫌に生きるヒントが隠されて
います。

この“まほうのことば”で、自分でも気付かないココロの奥の奥に光を当てた時、
くもりのない澄みきった優しい世界が見つかるかもしれません。

心豊かに、幸せを感じて生きる方法の答えは、いつも自分の中に…。

お子さまから大人まで、何度も何度も開いて欲しい、愛の詰まった一冊です。



【いってごらんシリーズ2】 さあ、勇気を出して・・・夢の扉を開く絵本

『ねがいごとはいってごらん』 文・絵 やまの ことり

願いや夢をかなえるには、情熱や努力が大切なのは
もちろんですが、想いを口に出して周りに発信することで、
その可能性はぐーんと広がります。

欲しい情報をもらったり、助けてくれる人が現れたり、
思わぬご縁に恵まれたりと、幸運の扉が開くのです。

この絵本は、主人公の子猫『みーご』が可愛いねがいごとを
通して繰り広げる、希望溢れるお話です。

子供たちのココロでいつか花開く“幸せの種”となり
可能性を諦めてしまった大人のココロにも希望の光が差すさすことでしょう。

また、『まほうのことばをいってごらん』から繋がっているお話の背景を楽しみながら、
読み比べしてみるものオススメです。



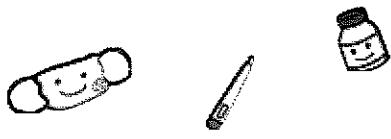
毎月の活動 (その他 文化創造体験活動、自主活動なども開催しています)

*変更や中止になる場合もありますのでお問い合わせ下さい。

<p>おもちゃ貸し出し エルマークラブ 対象: 幼児の親子 *申込制 毎週水曜日、第1・3金曜日 水戸子どもの劇場事務所 (各時間1組限定) 参加費: 無料 ① 11:00~11:45 ② 12:00~12:45 ③ 13:00~13:45 ○お申し込みは HP→申し込みフォーム、または お電話で! 事務局 029-255-0908 *おもちゃの貸し出しあり (貸し出しが、要会員 登録か会員外1回 300円)</p>	<p>多世代交流 たまり場「はやま庵」 *申込制 ① 毎週月曜日 10:00~12:30 無料 水戸市老人福祉センター葉山荘内和室 1日あたり5組10名程度 ○お申し込みは葉山荘まで 029-243-5508 *お休みすることもあります。 現在開催中かどうかについては、お問い合わせ下さい。</p> 
<p>ガレッジセール 月1回程度 火曜日 11時~14時 水戸子どもの劇場事務所となりトレーラーハウス 子ども服や雑貨日用品などをご覧下さい。 *日程についてはお問い合わせ下さい。</p>	<p>ガフの会 毎月読み聞かせ会をしています。 東部図書館 2F 第1・5土曜日 14時~14時半 見和図書館 第3土曜日 14時~14時半 参加費: 無料</p>
<p>comodo (コモド) 対象: 大人 *申込制 月2回程度 10時~12時 オンラインの場合あり 子どもに、子育てに、不安を抱えている家族のサロン 水戸市福祉ボランティア会館(ミオス2F) ○お申し込みは HP→申し込みフォーム、または お電話で! 事務局 029-255-0908</p>	<p>みとぴよ音楽隊♪ ファミリープラスバンド 毎月5回程度 9時半~12時(対象: 大人 子連れOK) 楽器の演奏を楽しんでいます。 依頼演奏もお受けしています! 参加費: 要活動会員登録(年3千円) 初回 1000円・毎回 200円 *練習場所等についてはお問い合わせください。</p>
<p>多胎児サークルかるがも *申込制 双子ちゃん三つ子ちゃんを持つ親子のサロン 限定4組 月1回金曜日 10時~12時 オンラインの場合あり 水戸市福祉ボランティア会館(ミオス2F) ○お申し込みは HP→申し込みフォーム、または お電話で! 事務局 029-255-0908</p>	<p>ウクレレ&ギターサークル♪「ピコ」 対象: 大人 場所: 事務所 毎月1回 10時半~14時(子連れOK) ゆる~くウクレレやギターを楽しむ会です! 参加費: 会員無料、会員外1回 300円 *見学できます、気軽に問い合わせください。</p>
<p>ぽかぽかつどいの広場 (水戸市受託事業) 毎週火・水・木・金・土 10:00~15:30 (日・月・祝日閉館) 12:30~13:30は消毒清掃のため閉所いたします。 場所: 水戸市福祉ボランティア会館(ミオス2F) 未就学児の親子を対象に、交流の場を提供しています。 毎月講座開催中! 参加費: 無料 ○お申し込みは、ぽかぽかつどいの広場 090-8348-5375まで</p>	<p>*申込制 (1週間前より受付) 午前の部 10:30~12:30 午後の部 13:30~15:30 各回先着8名まで</p>
<p>moso カフェ 対象: 大人 每月1回 10時半~14時 ウクレレなんかも♪ 事務所となりトレーラーハウスにて ゆったりまったり自由に過ごすゆる~い会です。 0円の処分品やバザー品もあります。</p>	<p>遠足くらぶ *申込制 対象: 子ども~大人 毎月1回 山のぼり、釣り、サイクリング、果物狩りなど、 いろんなことをみんなで体験しています。 参加費: 会員無料、会員外1回 300円 (その他実費) 詳しくはホームページからお問合せください。</p>
<p>室内ゲームの会「On the table」 対象: 小1~大人 每月1回、土曜か日曜(不定期) 10時~15時 水戸子どもの劇場事務所で、カードゲームやボード ゲームで楽しく遊びます。 参加費: 無料 出入り自由</p>	<p>ほっと! HOT! スクウェア ファミリー情報番組 毎週土曜日 15時~16時 毎週火曜日(再) スタッフはみんなお父さんお母さん、生活の中で気づいた疑問、得た情報を放送中です! ラジオFMばるるん 76.2MHz 放送中! *スポンサーも募集中!</p>

●訪問型病児保育“ぶちぶり”のご案内●

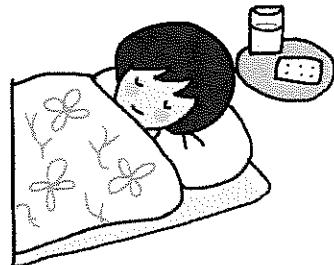
対象：水戸市居住の生後6ヶ月～小学生までのお子さん
実施場所：水戸市内の利用する児童の自宅
利用時間：原則として8時～20時まで



水戸市受託事業として水戸こどもの劇場が実施しています。

病気のお子さんを、研修を受けたスタッフが登録のあったご家庭に伺って見守ります。
事前登録、医師連絡票が必要です。
その他詳細は、水戸こどもの劇場ホームページをご覧ください。

*登録会を開催しています。(要予約)
(お問合せ) TEL029-255-0908



会員募集中！

入会は、子どもから大人まで。

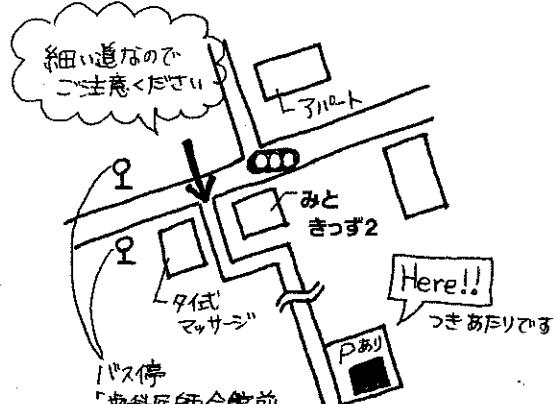
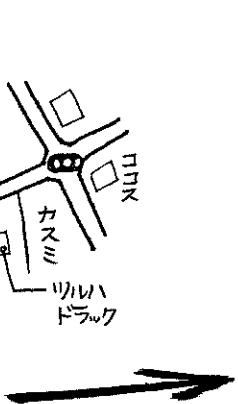
正会員	入会金	500円
	月会費	1,000円
活動会員	年会費	3,000円
ボランティア登録会員		
	(大人のみ)	学生無料
	年会費	1,000円
賛助会員	一口	5,000円～

*賛助会費は寄附扱いになります。

<賛助会員の皆さん>

石川クリニック様、水戸吉沢小児科クリニック様、河和田幼稚園様、乳がん仲間の小さなおしゃべり会 momo 様、サンライフ・サンフーズ様、モダンデンタル中庭歯科医院様、カフェよくなるよくなる様、雨宮則子様、井上多加志様、掛札千聰様、井上瑞穂様、岩田みなみ様、内桶純子様、加藤智明様、河原井忠男様、軍司忠之様、杉野美子様、柳橋剛様、田中光彦様、中根昭次様、中根一昭様、野口祥子様、袴塚雅彦様、真家彰様、仲根泰子様、大倉美紀様、桜井大介様、佐々木博子様

(順不同・9月末現在)



- ・カスミ側から1つ目の信号を左折です。
- ・駐車場あります(台数に限りあります)

<住所：水戸市見川2-82-11>

◆寄附のお願い◆

私たちの活動は、会員の会費や助成金、行政からの委託などの事業収入、ボランティアスタッフの奉仕によって実施されています。

全ての子どもたちが尊重され、この地に生まれてよかったと思える環境を私たち大人が創ることが豊かな未来を育てます。未来を育てる活動をご支援ください！

認定 NPO 法人への寄附は、確定申告をすると税金の還付が受けられます。
ぜひ応援よろしくお願ひいたします。

<お振込先>

- ・郵便振替 00300-8-1833 水戸こどもの劇場
- ・常陽銀行 見和支店 普通 1261264



<広告>



★志学塾★★★
ISJ 志学塾/友部校

生徒募集中！

塾の原点は、生徒と講師のコミュニケーション「対話」にあると考えます。将来のために、今、何をしなければならないか、それを生徒と一緒に考えていきたいと思っています。

まずはお電話下さい。
学習・進学指導歴 30 年の塾長がご相談に
応じます。(13:30~受付 日曜祝日休)

ISJ 志学塾/友部校 (志学塾 STEP) 0296-70-5122
笠間市東平 2-4-3 田中ビル 2F
駅前児童公園隣 常陽銀行駐車場隣

「安心・丁寧」プロにおまかせ！

きれいに住まいる

キッチン・エアコン・
浴室・ガラス他、
店舗・オフィスの
クリーニングも
お任せ下さい！

ご相談、お見積もりは
無料です。
いつでもお気軽に
お電話ください。

029-255-0126
おそうじ本舗。 水戸河和田店

カイロプラクティックで健康 UP!

～ご予約お待ちしています～

石岡市 南台カイロプラクティック

真家智子 電話：0299-27-1028
携帯：090-6134-5835



●施術料：5,000 円

(初回 7,000 円はこの広告で 2,000 円割引です)

*カイロは体のゆがみを治して、本来持っている自然治癒力を高める療法です。肩・腰・膝などの痛み、しびれや姿勢が改善して、体が楽になったと喜ばれています。

中古車購入 衝撃のシステム

- 気圧 10万台以上のオークション出品車両から、お気に入りのクルマをお選びいただけます。
- オークション出品車両を直営買い付け、お査定にお届けしますので、中間マージンの大幅カットによりとにかく安い！
- 出品額・評価点オープンで厳格な品質チェックにより、安心してクルマをお選びいただけます。
- 1年間無料ロードサービス付き

お気軽にお遊びに来てくださいね。
スタッフ一同、心よりお待ちしております。

お問い合わせはフリーダイヤル 0120-977-880
中古車情報館 スーパーオークション水戸河和田店

水戸市河和田町3丁目5-14

営業時間 10:00~20:00 定休日 月曜

吉田石油



50号バイパス・岩間街道交差点内